スクエアマルチLCDメーターキット　取扱説明書

製品番号	05-05-0046	適応車種	XTZ125(JYM125-9)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎配線コネクタに水分が入り込んだ場合、ショートする恐れがあります。雨天中の走行や洗車時は、配線部に水が掛からないように注意して下さい。
◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。
◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特　徴～

○ XTZ125専用のスクエアマルチLCDメーターキットです。メーター表示の視認性を確保しながらヘッドライトカウル内に収まります。
○各種インジケーター類を正常に使用出来るよう、XTZ専用のサブハーネスを製作。
　また専用設計ですので、わずらわしい配線加工も無くカプラーオン、ボルトオンで装着が可能となっております。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。(火傷の原因となります。)
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

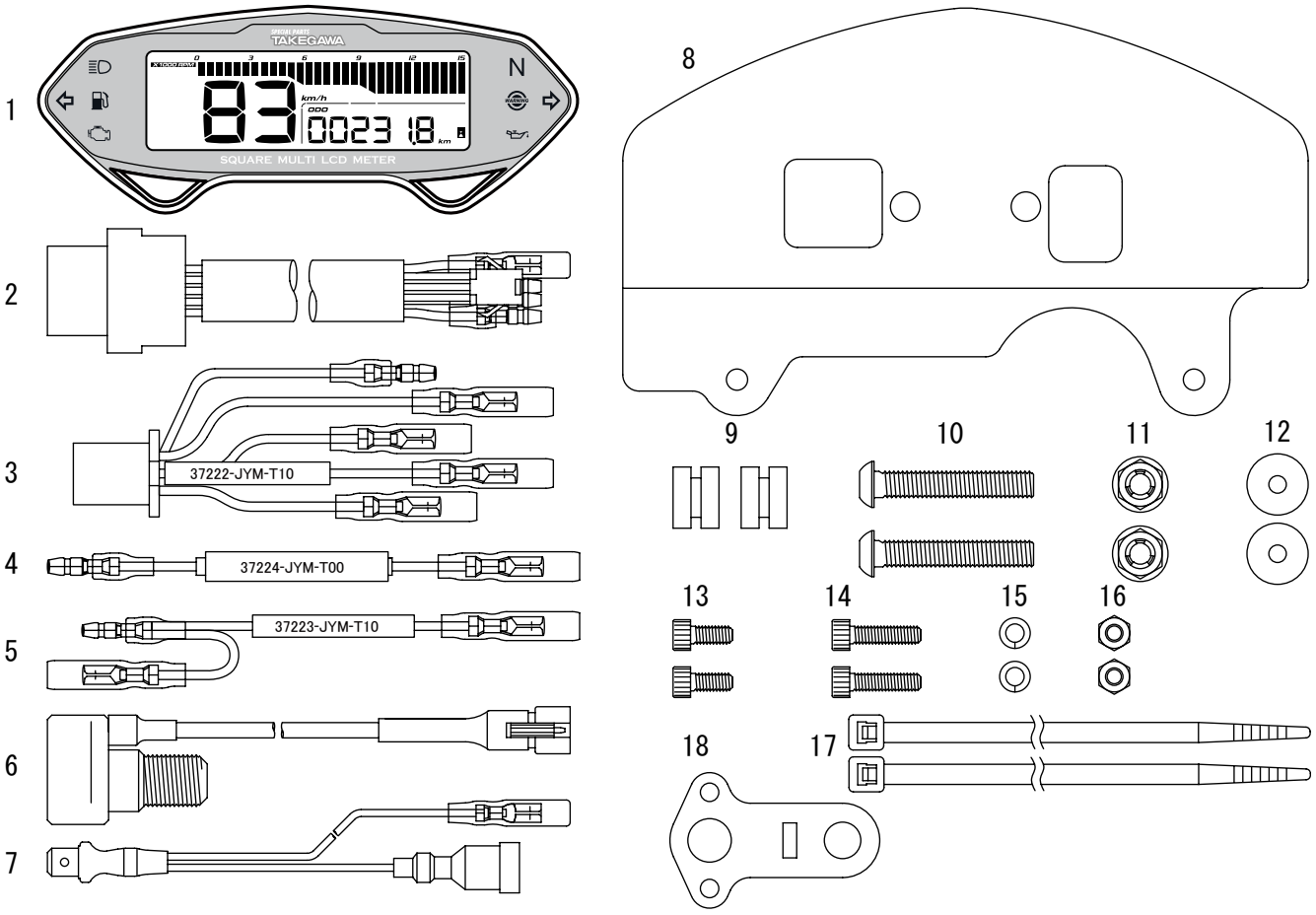
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
　但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
　なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ご使用上の注意点～

◎社外品H.I.D.キットや他社製LEDヘッドライトは、バラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので絶対に同時装着しないで下さい。社外品の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けないで下さい。
　社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー　電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので取り付けないで下さい。
◎本製品のボディーは樹脂製です。
　風化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけて下さい。
　炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。
◎本製品は完全防水ではありません。
　防滴構造ですので雨などの通常の水濡れ程度では内部に水は入りませんが、完全防水ではありませんので水の中に浸すなどすると水が浸入してしまいます。万が一、本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。また、湿度が高い時、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込みパネル内面に曇りが発生する可能性があります。
◎絶対に分解しないで下さい。
　分解や改造を行わないで下さい。また、お客様で分解された場合、商品修理をお受けする事も出来なくなってしまいます。
◎激しい衝撃を与えないで下さい。
　オフロード走行やジャンプ、ウイリーなど、メーターに強い衝撃を与える行為は行わないで下さい。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。
◎お手入れについて
　頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドで掃除しますと、パネル等が曇ってしまいますのでご注意下さい。
◎ヘッドライトOFFでの走行禁止/保安部品を外したレース用車両
　常時点灯のヘッドライトを断線するだけ等の安易な改造によるヘッドライトOFFの状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障し、メーターの最大電圧を越えてしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では悪影響がより強くなります。
　ヘッドライトのバルブ球切れの場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて（光軸も調整して）下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。
　レース用車両ですべての保安部品を外すには、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要となります。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

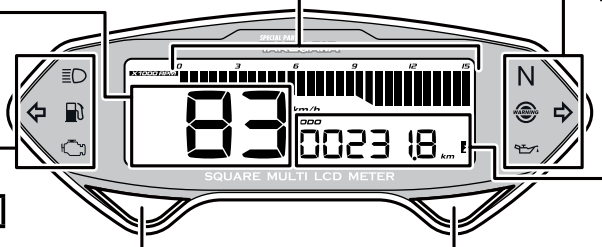


番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	スクエア LCD スピード＆タコメーター SQLST1	1	05-05-0006（セット）
2	メインハーネス	1	00-05-0034
3	メーターサブコード	1	37222-JYM-T10
4	インジケーターサブハーネス	1	37224-JYM-T00
5	メーターサブコード 2	1	37223-JYM-T10
6	速度センサー	1	05-06-0012（セット）
7	RPM コード	1	090-00-0063
8	メーターステー	1	37213-JYM-T00
9	ラバー	2	――――
10	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x25	2	00-00-0126（5 ケ入り）
11	フランジ U ナット 6mm	2	00-00-0091（6 ケ入り）
12	ワッシャ 4x14	2	――――
13	ソケットキャップスクリュー 4x10	2	――――
14	ソケットキャップスクリュー 4x16	2	00-00-0328（5 ケ入り）
15	スプリングワッシャ 4mm	2	00-00-0399（10 ケ入り）
16	6 角ナット M4	2	00-00-0398（10 ケ入り）
17	結束バンド 100mm	2	00-00-0228（10 ケ入り）
18	速度センサーステーフラットタイプ	1	――――

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
　品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
　尚､単品出荷出来ない部品もありますので､その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

上記以外に部品が付属しておりますが、本製品では使用しません。ご注意下さい。

■各種機能表示位置



■各種機能一覧　設定方法見出し番号

68 km/h	スピードメーター	表示範囲 :0 ～ 360km/h　表示単位 1km		設定→見出し番号⑦
		タイヤ外周設定	設定範囲 300 ～ 2500mm　設定単位 1mm	設定→見出し番号①
		スピードセンサー	設定範囲 1 ～ 20　設定単位 1	
		最高速度記録	表示範囲 0 ～ 360km/h　表示単位 1km/h	設定→見出し番号⑫
		平均速度記録	表示範囲 0 ～ 360km/h　表示単位 1km/h	

x1000rpm 0 3 6	タコメーター	表示範囲 :0 ～ 15000rpm（最大） 表示単位 10rpm		
		表示設定	0 ～ 10,000rpm　表示単位 :333rpm 0 ～ 12,000rpm　表示単位 :400rpm 0 ～ 15,000rpm　表示単位 :500rpm	設定→見出し番号②
		最高回転数記録	表示範囲 0 ～ 15,000rpm 表示単位 10rpm	
		タコメーター 入力信号 / プログラム	信号設定範囲 P-0.5、P-1 ～ P-25 プログラム設定範囲 lo-Act、Hi-Act	

ODO 00835.2 km	オドメーター	表示範囲 :0 ～ 99999.9km　表示単位 :0.1km （範囲を超えると 0 に戻ります）		設定→見出し番号⑨
	ユーザーオド設定	表示範囲 :0 ～ 99999.9km		
TRIP A 00 172.6 km	トリップメーター A,B	表示範囲 :0 ～ 9999.9km　表示単位 :0.1km （範囲を超えると 0 に戻ります）		設定→見出し番号⑩
	エンジンオイル トリップメーター	表示範囲 :0 ～ 9999km		設定→見出し番号⑥

T 36.2 HOUR	エンジンアワーメーター	表示範表示範囲 0 ～ 99999.9 時間　表示単位 0.1 時間		設定→見出し番号⑪
	エンジンアワーメーターA	表示範表示範囲 0 ～ 99999.9 時間　表示単位 0.1 時間		
	エンジンアワーメーターB	表示範表示範囲 0 ～ 99999.9 時間　表示単位 0.1 時間		

E F	ガソリン計 ※当社車両では 使用しません。	表示範囲 :10 段階	※フューエルセンサーの取付けが必要	設定→見出し番号③
		ガソリンレベル 抵抗値設定	設定範囲 100 Ω 250 Ω 270 Ω 510 Ω 1200 Ω	
		ガソリンレベル ユーザー設定	対象車両のサービスマニュアルに記載の抵抗値を入力	
		ガソリンレベル 抵抗自動検出設定	タンク容量が満タン状態と空の状態でそれぞれ抵抗値を自動で検出。	
		ガソリン警告灯設定	燃料の残りが設定値を下回るとガソリン計が点滅。	

	バックライト	輝度	設定範囲 :1（暗い）～ 5（明るい）	設定→見出し番号⑤

PM 7:28	時計	12 時間制 /24 時間制 設定単位 1 分	設定→見出し番号④

12.0V	電圧計	表示範囲 :8 ～ 16V 表示単位 0.1V

メーターのサイズ	120mm × 46mm × 20mm
メーターの重量	240g
動作電圧	DC12V
使用温度範囲	-10 ～ +60°C

インジケーターランプ	アイコン
ニュートラル（緑）	N
右ウインカーインジケーター（緑）	⇨
警告灯（赤）※当社車両では使用しません。	WARNING
オイル警告灯（赤）※当社車両では使用しません	
ハイビームインジケーター（青）	≡D
左ウインカーインジケーター（緑）	⇦
ガソリン計（黄）※当社車両では使用しません	
エンジン警告灯（黄）※当社車両では使用しません	

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

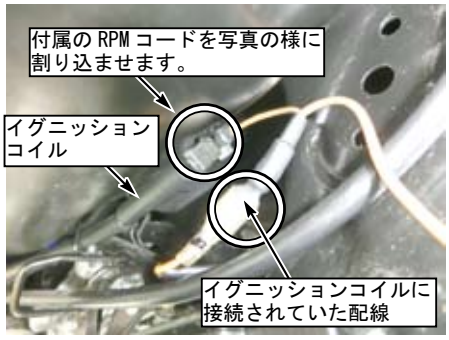
※水平で安全な場所で車両を安定させます。
※ショートの恐れがある為、メインキーが OFF である事を確認します。
※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

1. ライトユニット、サイドカバーを外します。
ライトユニットの外し方ですが､ライトカバー右側内部にあるフランジボルト（1 箇所）とライトカバー両サイドのボルト（各 1 箇所）を外すとライトユニットごと外れます。

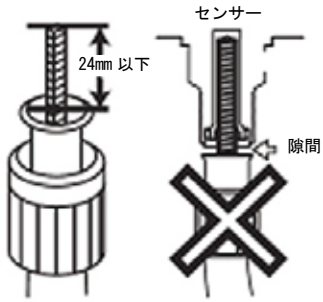
2. メーター下両サイドのフランジボルト 2 箇所を外し､スピードメーターケーブル､カプラー､ハイビーム用配線（黄色）を外します。

3. メーターステーに付属のラバーを付け、メーター本体を差し込み裏側からワッシャ 4x14、ソケットキャップスクリュー 4x10 で固定します。

4. RPM コード（茶色）を車両側とメインハーネス側に接続します。
図のように燃料タンクの下側にあるイグニッションコイルに接続している線を外し、付属の RPM コード（平型メス）を差し込み、取り外した配線には RPM コード側の平型オスを差し込みます。
残りの配線（メスギボシ）はメインハーネスに接続（茶色）して下さい。その時にワイヤリングした配線をタイラップなどで固定するなどして下さい。



5. 付属の速度センサーステーフラットタイプとソケットキャップスクリュー 4x16、スプリングワッシャ 4mm, 6 角ナット M4 を使用し図のように固定します。
スピードメーターケーブルを速度センサーに接続します。プライヤー等を使用し確実に取り付けます。
※付属の速度センサーに取り付け可能なスピードメーターケーブルのインナーケーブルの飛び出し量は 24mm 未満（JIS 規格に基づく形状）となります。
飛び出し量が多いスピードメーターケーブルを取り付けた場合は回転部が激しく磨耗し、正確な速度を認識出来なくなる為、念のためインナーケーブルの飛び出し量を測ります。
万が一飛び出し量が 24mm を超える場合は、その部分をカットすると使用出来ます。

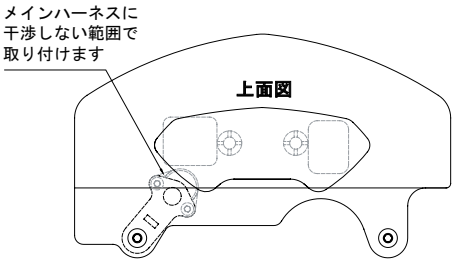


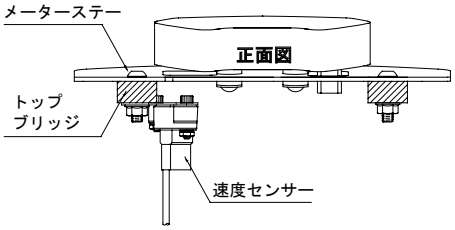
6. メインハーネスとメーターサブコード、インジケーターサブハーネスを P8 の配線図通りに接続し、カプラーを車両側のカプラーに接続します。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

7. メーターステーを車両本体に取り付ける為、付属品のボタンソケットスクリュー 6x25、フランジ U ナット 6㎜ を取り付けます。
その時に同時に速度センサーも写真又は図を参考に取り付けて下さい。
メインハーネスをメーター本体に差し込み、ヘッドライトカバー、サイドカバーを取り付けて下さい。
（配線類は付属のタイラップを使用し固定して下さい。）

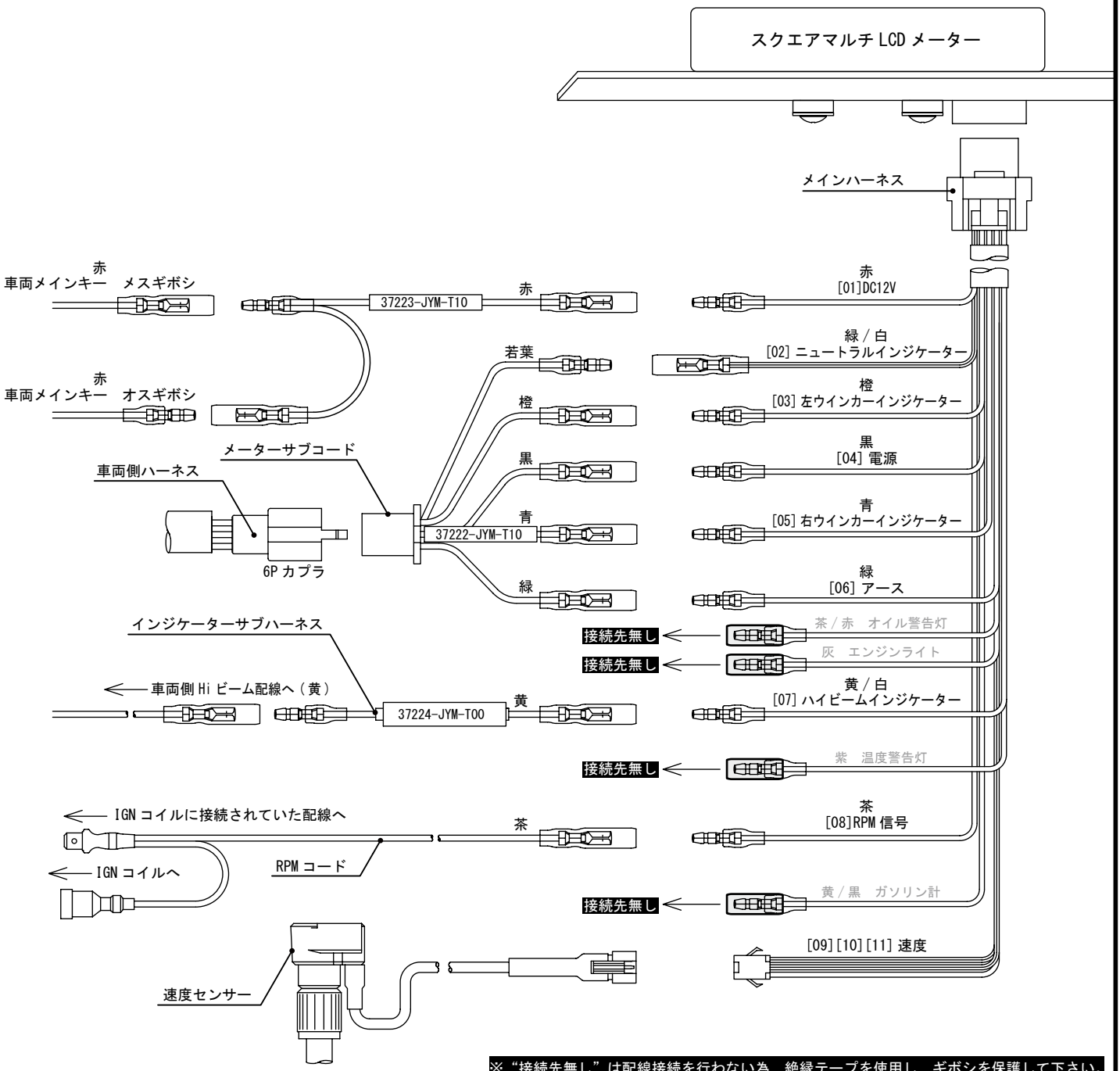
メーターにハーネスを取り付け後、キー ON にして正常に動作するかご確認下さい。





8. 後記のメーターの設定を参考にして設定を行います。
9. 各インジケーターを含め正常に作動するか確認します。

配線図

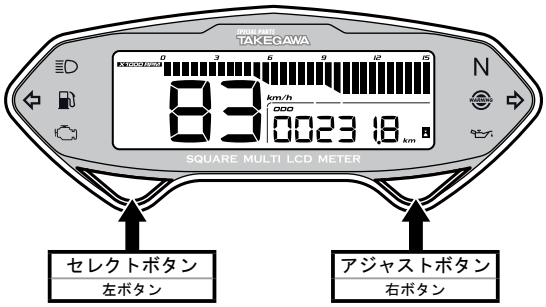


※“接続先無し”は配線接続を行わない為、絶縁テープを使用し、ギボシを保護して下さい。

No.	配線色	機能	No.	Color	Function
[01]	赤	DC12V	[01]	Red	DC12V
[02]	緑 / 白	ニュートラルインジケーターランプ	[02]	Green/White	Indicator
[03]	橙	左ウインカーインジケーター	[03]	Orange	Left turn signal Indicator
[04]	黒	キー ON 電源入力 (DC12V)	[04]	Black	Key-on (DC12V)
[05]	青	右ウインカーインジケーター	[05]	Blue	Right turn signal Indicator
[06]	緑	メインアース (GND)	[06]	Green	Main GND
[07]	黄 / 白	ハイビームインジケーター (プラス接続)	[07]	Yellow/White	Indicator
[08]	茶	RPM 信号入力 (パルス)	[08]	Brown	RPM Signal Input (Pulse)
[09]	緑	速度センサー (GND)	[09]	Green	Speed Sensor (GND)
[10]	赤 / 白	速度センサー (5V 出力)	[10]	Red/White	Speed Sensor (5V Output)
[11]	茶 / 白	速度センサー (パルス入力)	[11]	Brown/White	Speed Sensor (Pulse)

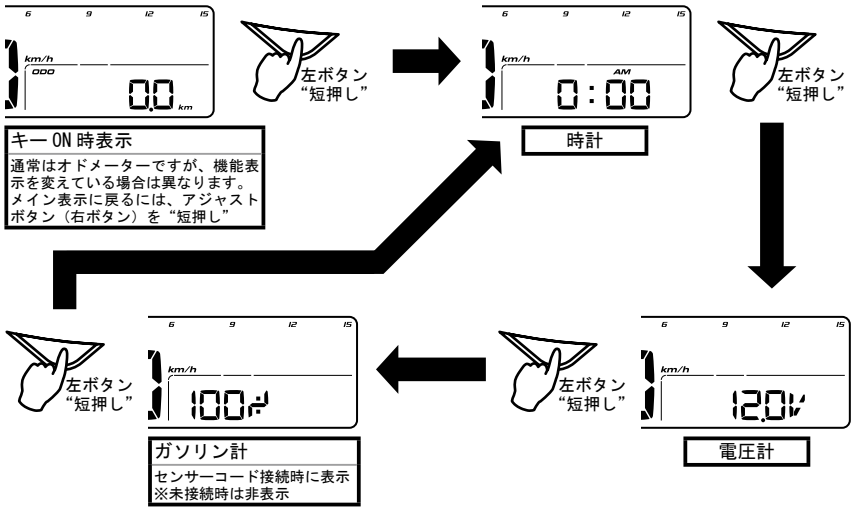
〔ヘッドライト OFF での走行禁止 / 保安部品を外したレース用車輌〕

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造（断線させるだけ）によりライト OFF 状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。
ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。
ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて（光軸も調整して）下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい
レース用車両ですべての保安部品を外すには、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要となります。

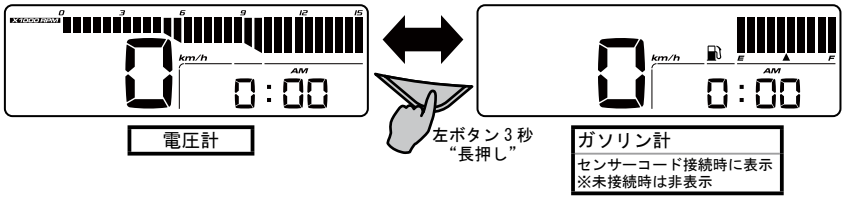


セレクトボタン（左ボタン）“短押し”によるメイン画面表示切り替え

■キー ON により、メイン画面が表示された状態でセレクトボタン（左ボタン）を“短押し”することで、画面が切り替わり各機能が表示されます。

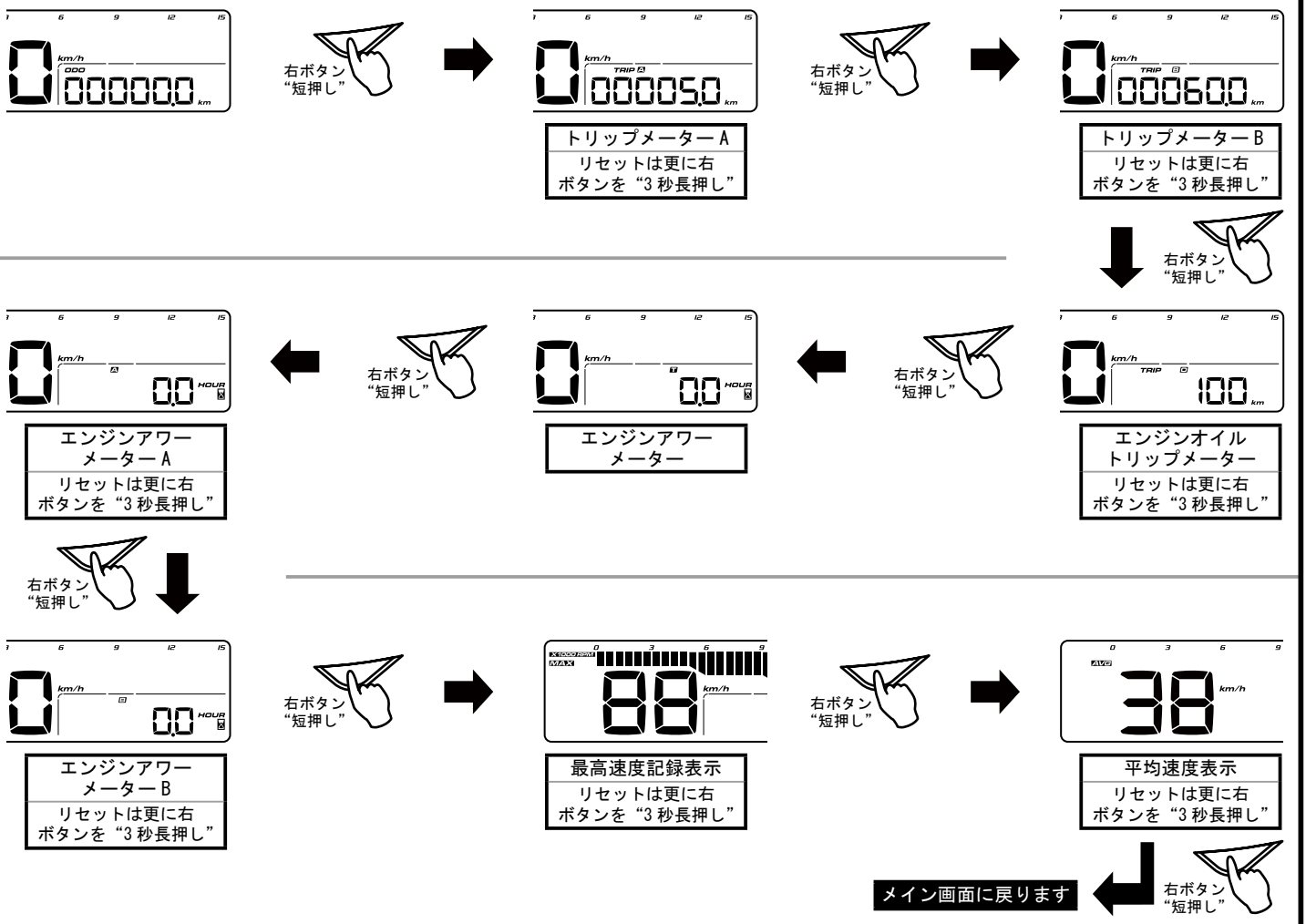


上記いずれの画面でもセレクトボタン（左ボタン）を 3 秒間長押しすることで、メイン画面表示されている“回転数表示”と“ガソリン計表示”の切り替えが出来ます。
ガソリン計センサーコードが接続されていない場合、画面は切り替わりません。



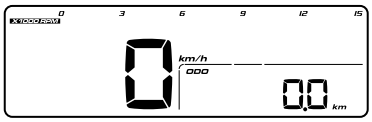
アジャストボタン（右ボタン）“短押し”によるメイン画面表示切り替えと各種機能のリセット方法

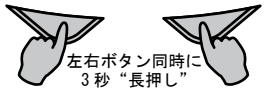
■メイン画面の表示からアジャストボタン（右ボタン）を“短押し”することで、画面が切り替わり、各機能が表示されます。
記録機能の場合、希望の項目でセレクトボタン(左ボタン)とアジャストボタン(右ボタン)を同時に“3 秒長押し”することにより、リセットが行えます。



各機能設定画面の入り方との切り替え方法

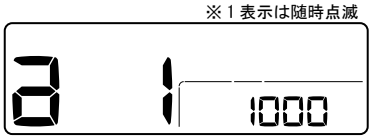
■各機能の設定画面に入るには、セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3 秒長押し”します。
■設定画面に入ると“ a1 ”が画面に表示されます。設定する各カテゴリーは a1 ～ a9 の 9 項目があります。
a1 ～ a9 への切り替えはアジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替え出来ます。（各カテゴリーは下記一覧をご確認下さい）
■更に選択する機能の設定画面に入るには、セレクトボタン（左ボタン）を“短押し”します。
選択した機能内での項目（単位）等の切り替えは、セレクトボタン（左ボタン）の“短押し”になります。
機能内での数値の変更はアジャストボタン（右ボタン）の“短押し”になります。数値の決定はセレクトボタン（左ボタン）になります。





設定画面への切り替えは、画面表示や選択項目が、
どの状態であっても左右ボタンを 3 秒“長押し”
することで設定画面への切り替わります。

※ 1 表示は随時点滅



a1
円周 / センシング設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号①

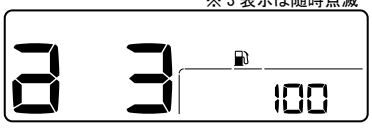
右ボタン
“短押し”

※ 2 表示は随時点滅

a2
タコメーター入力設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号②

右ボタン
“短押し”

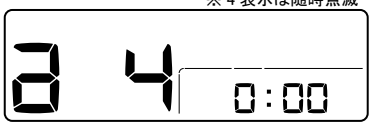
※ 3 表示は随時点滅



a3
※当車両では使用しません。
ガソリン計設定
ガソリンレベル抵抗値
ガソリンレベル ユーザー設定
ガソリンレベル抵抗自動検出設定
ガソリン警告灯設定
設定は更に左ボタンを“短押し”
設定→見出し番号③

右ボタン
“短押し”

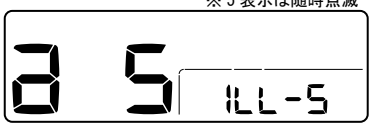
※ 4 表示は随時点滅



a4
時計設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号④

右ボタン
“短押し”

※ 5 表示は随時点滅



a5
バックライト輝度設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号⑤

右ボタン
“短押し”

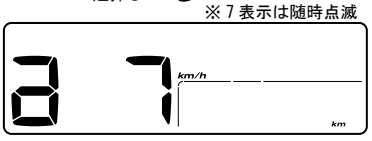
a6 表示へ

※ 6 表示は随時点滅

a6
エンジンオイル
トリップメーター設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号⑥

右ボタン
“短押し”

※ 7 表示は随時点滅



a7
スピードメーター設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号⑦

右ボタン
“短押し”

※ 8 表示は随時点滅

a8
ユーザーオド設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号⑧

右ボタン
“短押し”

※ 9 表示は随時点滅

a9
オドメーター設定
設定は更に左ボタンを
“短押し”
設定→見出し番号⑨

右ボタン
“短押し”

a1 表示に戻ります。

① a1 円周 / センシング設定

■“a1 円周 / センシング設定”でスピードメーターの設定を行います。
■XTZ125 用スクエアマルチ LCD メーターキットには、JIS ケーブル式速度センサーが付属しています。
このJIS ケーブル式速度センサーは、JIS 規格に基づいたケーブル差し込み部形状（下記参考図）を採用している為、XTZ125 純正スピードメーターケーブルがそのまま取り付け出来ます。

JIS ケーブル式速度センサーの速度信号長さ設定と速度信号回数設定について

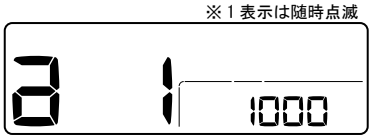
■ノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアを使用している場合、メーター側の設定は 714mm、6 信号です。
国内車輌は JIS 規格によりメーターケーブル回転数が 1400rpm 時 60km/h と定められおり、これを換算した値が 714mm、6 信号である為です。
他車種のホイール流用などの場合でも、そのホイール用のメーターギアをセットで使用すれば、同様に標準補正値は 714mm、6 信号です。

■メーターギアはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合は速度補正の必要があります。
外品のインチアップホイールに交換した場合やタイヤサイズを変更した場合など
“速度補正値 調べ方”につきましては説明書最終ページをご覧下さい。

下記入力方法に従い“ 714 mm ”“ 6P ”を入力します。

■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3 秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。
そのままセレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a1“円周 / センシング設定”設定画面に入ります。

※1 表示は随時点滅

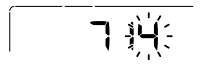


左右ボタン同時 3 秒長押しで設定画面に入ります。“a1”が表示されます。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ります。

■a1“円周 / センシング設定”設定画面
タイヤ外周“ 714 mm ”を入力します。その後、信号数“ 6P ”をに入力します。

左ボタン“短押し”で設定画面に入ると、1000 の位の数字が点滅します。
ここでタイヤ外周（mm）を入力します。
点滅している位の数字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字の決定は、左ボタン“短押し”になります。
決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。
最後の位を決定（左ボタン“短押し”）すると入力が完了し、次の設定画面に切り替わります。※入力はまだ確定しておりません。ご注意下さい。

数字決定後は次の位に切り替わります。



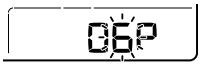
※選択部分は随時点滅

最後の位を左ボタン“短押し”で決定

タイヤ周長：“ 714mm ”を入力します。

タイヤ周長を最後の位を左ボタン“短押し”すると信号数入力画面に切り替わります。
ここで、信号数を入力します。
点滅している位の数字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字の決定は、左ボタン“短押し”になります。
決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。
最後の位を決定（左ボタン“短押し”）し、次の画面へ送ります。
例 :6 信号の場合“ 0 6 ”と入力して下さい。
最後の位を決定（左ボタン“短押し”）し、次の画面へ送ることで、最初の円周 / センシング設定画面（a.1）に戻ります。ここで左ボタン“長押し”を行うことで、設定が確定されてメイン画面へ戻ります。

信号数入力画面に切り替わります。



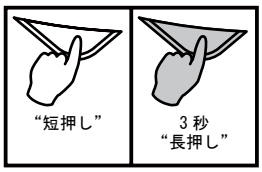
信号数：“ 06 ”を入力します。

※選択部分は随時点滅

最後の位を左ボタン“短押し”で次の画面へ送ります。

最初の円周 / センシング設定画面“a.1”に戻ります。a.1 の 1 が点滅した状態で、左ボタン“長押し”を行い設定を確定します。同時にメイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ります。



※設定確定に関する注意点
数値入力・機能選択後は必ず、設定トップ画面（a.1）に左ボタン（短押し）で戻り、a.1 の 1 が点滅状態で左ボタン（長押し）でメイン画面に戻って下さい。この作業が“設定確定”となり、メーターに設定が記憶されます。
※上記作業を行わず、キー OFF を行うと新規設定は記憶されず、設定前の状態になります。

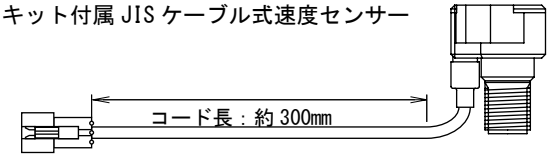
JIS ケーブル式速度センサーを取付ける場合の取付方法と注意事項

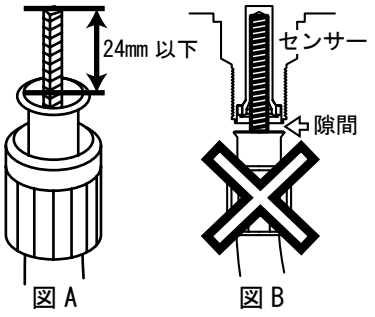
■XTZ125 用スクエアマルチ LCD メーターキットには、“JIS ケーブル式速度センサー”が付属しています。
このJIS ケーブル式速度センサーは、JIS 規格に基づいたケーブル差し込み部形状（下記参考図）を採用している為、XTZ125 純正スピードメーターケーブルにそのまま取り付け可能です。

キット付属品 JIS ケーブル式速度センサーの接続

付属の JIS ケーブル式速度センサーの上限回転数は 4200rpm ≒ 180km/h 相当まで。
ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込めた事を確認してから、ケーブルロックナットを締めて下さい。
走行中にケーブルの接続が外れないようプライヤーなどを使いしっかりと取り付けて下さい。
取り付け後も緩みが無いか定期的に点検して下さい。

キット付属 JIS ケーブル式速度センサー



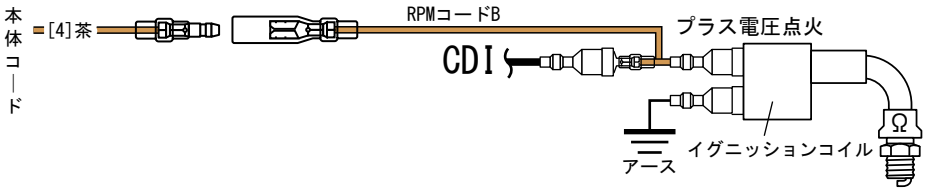


■本製品は JIS 規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、XTZ125（輸入車）では個体差がありますので、ケーブル加工が必要な場合があります。
※ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい（図 A）。24mm を超える場合はその部分をカットして下さい。
図 B のように底づきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認 識出来なくなってしまいます。

② a2 タコメーター入力設定

■“a2 タコメーター入力設定”でタコメーターの設定を行います。
■XTZ125 はキット付属の RPM コードを用いて下記接続方法“ B 接続 C.D.I. 点火方式”にて配線を接続します。

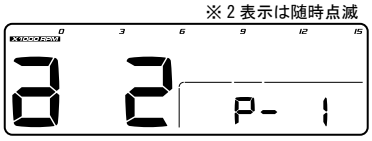
C.D.I. 点火方式 【B 接続】



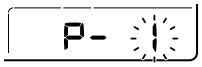
下記入力方法に従い RPM 信号回数設定範囲を“ P-1 ” RPM 信号種類設定を“ Lo-Act ”を入力します。
回転数表示範囲（タコメーターの表示範囲）は 10000rpm・12000rpm・15000rpm の 3 種類から表示したい範囲をお選び下さい。

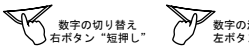
■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3 秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a2”に合わせ、
セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a2“タコメーター入力設定”設定画面に入ります。

※2 表示は随時点滅

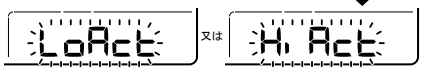


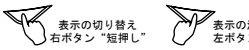
左右ボタン同時 3 秒長押しで設定画面に入ります。“a1”が表示されます。
右ボタン“短押し”で a2“タコメーター入力設定”設定画面へ切り替えます。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ります。



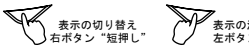


数字決定後は次の RPM 信号種類設定画面に切り替わります。





決定後は次のタコメーター表示範囲設定画面に切り替わります。



決定後はタコメーター入力設定画面（a.2）に切り替わります。

タコメーター入力設定画面“a.2”に戻ります。a.2 の 2 が点滅した状態で、左ボタン“長押し”を行い設定を確定します。同時にメイン画面に戻ります。

■a2“タコメーター入力設定”設定画面
タコメーターの信号入力を行います。車両に合わせて接続方法、RPM 信号回数、種類を設定して下さい。
下記“RPM 信号入力”にある各種設定を参考にし、RPM コードの接続と信号回数の入力を行って下さい。

上記“B 接続 C.D.I. 点火方式”で RPM コードを接続し、タコメーター入力設定にて信号回数を入力します。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ると、数字が点滅します。
ここで RPM 信号回数を入力します。
点滅している位の数字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字の決定は、左ボタン“短押し”になります。
決定すると次の“RPM 信号種類設定”切り替わります。
※入力はまだ確定しておりません。ご注意下さい。

RPM 信号回数設定範囲：“ P-1 ”を入力します。

RPM 信号種類設定
※下記“RPM 信号入力”を参考に“Hi-Act”、又は“Lo-Act”を選択して下さい。
点滅している文字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
決定は、左ボタン“短押し”になります。
決定すると次の“タコメーター表示範囲の設定”切り替わり入力完了となります。※入力はまだ確定しておりません。ご注意下さい。

RPM 信号種類設定：“ Lo-Act ”を入力します。

タコメーター表示範囲の設定 10000rpm/12000rpm/15000rpm の 3 種類
点滅している数字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
この設定を決定（左ボタン“短押し”）すると入力完了となり、最初のタコメーター入力設定画面（a.2）に戻ります。ここで左ボタン“長押し”を行うことで、設定が確定されてメイン画面へ戻ります。

回転数表示範囲：10000rpm・12000rpm・15000rpm の 3 種類から選択

※タコメーター入力数を設定し、正常に作動しない場合、下記“RPM 信号入力”を参考に別の設定に切り替えて試して下さい。

※設定確定に関する注意点
数値入力・機能選択後は必ず、設定トップ画面（a.2）に左ボタン（短押し）で戻り、a.2 の 2 が点滅状態で左ボタン（長押し）でメイン画面に戻って下さい。この作業が“設定確定”となり、メーターに設定が記憶されます。
※上記作業を行わず、キー OFF を行うと新規設定は記憶されず、設定前 の状態になります。

XTZ125 タコメーター入力数	発火数
P-1	1 回転 1 発火

注意事項 1. 悪影響を及ぼす社外部品を使わないで下さい。

■スパークカを強くすると、それに応じて点火ノイズも増大します。
イグニッションコイルやプラグコード、プラグキャップ、レーシングプラグ（抵抗無しタイプ）、社外 CDI 等の改造が大きな悪影響を及ぼす事があります。
■点火系部品の劣化も点火ノイズ増大に関係します。特にプラグコード表面の劣化＆水濡れには注意して下さい。

トラブルシューティング

■指針の上下の動きは安定しているが、実際よりも少ない値や多い値を指す。
→「RPM 信号回数設定」が合っていない可能性があります。合っていないとちょうど 2 倍や半分の値を指します。
■指針が全く上がらない。→「RPM 信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。
■指針が実際よりも多い値を指す。指針が振り切る。→「RPM 信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。
※調整により、微妙な数値誤差が生じる可能性はほとんどありません。正常な数値を表示出来るか、出来ないかはっきりしています。

③ a3 ガソリン計設定

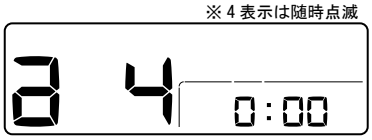
■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3 秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a3”に合わせ、
セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a3“ガソリン計設定”設定画面に入ります。

■“a3 ガソリン計設定”でガソリン計の設定を行います。
■XTZ125 はガソリン計が無い為、配線の接続を行わず絶縁処理を行います。その為、設定する必要はありません

④ a4 時計設定

■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3 秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a4”に合わせ、セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a4“時計設定”設定画面に入ります。

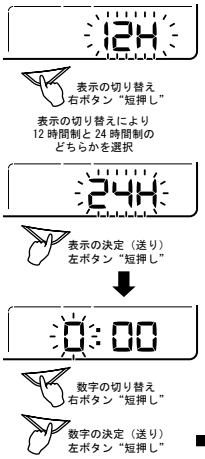
※4 表示は随時点滅



左ボタン“短押し”

左右ボタン同時 3 秒長押しで設定画面に入ります。“a1”が表示されます。
右ボタン“短押し”で a4“時計設定”設定画面へ切り替えます。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ります。

■a4“時計設定”設定画面
時計の設定を行います。12 時間制 /24 時間制の 2 種類から表示方法を選択し、時刻の入力を行います。



左ボタン“短押し”で設定画面に入ると、“12H”“24H”のいずれかが点滅します。ここで 12 時間制 /24 時間制のどちらかを選択します。
点滅している表示の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
左ボタン“短押し”で決定すると設定が完了し、次の“時刻入力”画面に切り替わります。
時刻の入力の数字部分が点滅します。ここで時刻を入力します。
点滅している位の数字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字の決定は、左ボタン“短押し”になります。
決定すると次の時刻の数字へ切り替わり、点滅します。
最後の時刻を決定（左ボタン“短押し”）すると入力完了となります。
※入力はまだ確定しておりません。ご注意下さい。
左ボタン“短押し”で決定すると設定が完了し、最初の時計設定 設定画面（a.4）に戻ります。ここで左ボタン“長押し”を行うことで、設定が確定されてメイン画面へ戻ります。

※設定確定に関する注意点
数値入力・機能選択後は必ず、設定トップ画面に左ボタン（短押し）で戻り、数字（例:a.1 の 1）が点滅状態で左ボタン（長押し）でメイン画面に戻って下さい。この作業で“設定確定”となり、メーターに設定が記憶されます。

※上記作業を行わず、キー OFF を行うと新規設定は記憶されず、設定前の状態になります。

時計設定画面“a.4”に戻ります。
a.4 の 4 が点滅した状態で、
左ボタン“長押し”を行い設定を確定します。同時にメイン画面に戻ります。

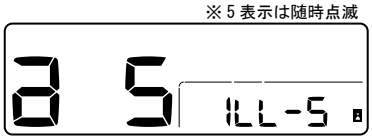
左ボタン 3 秒“長押し”

設定の確定とメイン画面に戻ります。

⑤ a5 バックライト輝度設定

■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3 秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a5”に合わせ、セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a5“バックライト輝度設定”設定画面に入ります。

※5 表示は随時点滅

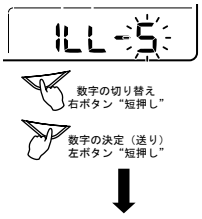


左ボタン“短押し”

左右ボタン同時 3 秒長押しで設定画面に入ります。“a1”が表示されます。
右ボタン“短押し”で a5“バックライト輝度設定”設定画面へ切り替えます。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ります。

※上記“設定確定に関する注意点”をご確認下さい。

■a5“バックライト輝度設定”設定画面
バックライトの輝度設定を行います。1 ～ 5 の 5 段階の輝度から選択することが出来ます。



左ボタン“短押し”で設定画面に入ると、数字が点滅します。
ここでバックライトの輝度を選択します。
点滅している表示の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字を決定（左ボタン“短押し”）すると設定完了となります。
※入力はまだ確定しておりません。ご注意下さい。
左ボタン“短押し”で決定すると設定が完了し、最初のバックライト輝度設定 設定画面（a.5）に戻ります。ここで左ボタン“長押し”を行うことで、設定が確定されてメイン画面へ戻ります。

設定範囲は 1 レベルあたりの輝度が 20%となります。
60%に設定する場合はレベル 3 となります。

バックライト輝度設定画面“a.5”に戻ります。a.5 の 5 が点滅した状態で、
左ボタン“長押し”を行い設定を確定します。同時にメイン画面に戻ります。

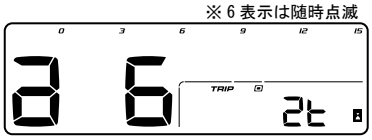
左ボタン 3 秒“長押し”

設定の確定とメイン画面に戻ります。

⑥ a6 エンジンオイルトリップメーター設定

■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3 秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a6”に合わせ、セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a6“エンジンオイルトリップメーター設定”設定画面に入ります。

※6 表示は随時点滅

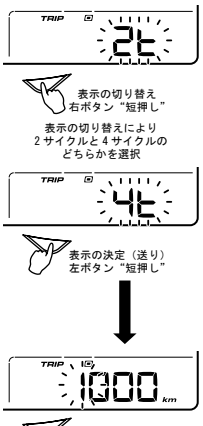


左ボタン“短押し”

左右ボタン同時 3 秒長押しで設定画面に入ります。
“a1”が表示されます。
右ボタン“短押し”で a6“エンジンオイルトリップメーター設定”設定画面へ切り替えます。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ります。

※上記“設定確定に関する注意点”をご確認下さい。

■a6“エンジンオイルトリップメーター設定”設定画面
エンジンオイル交換または給油の警告を促す設定を行います。



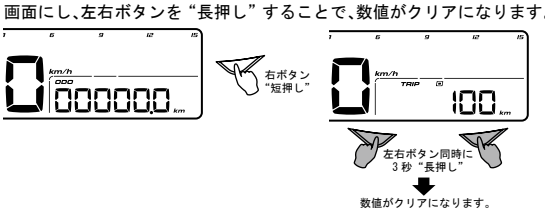
左ボタン“短押し”で設定画面に入ると、“2t”又は“4t”表示が点滅します。
ここでエンジンオイルの種類を選択します。
点滅している表示の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字を決定（左ボタン“短押し”）すると警告指定距離の入力画面に切り替わります。

4st：4 ストロークオイル
2st：2 ストロークオイル

警告指定距離の入力画面入ると、1000 の位の数字が点滅します。
ここで警告指定距離（km）を入力します。
点滅している位の数字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字の決定は、左ボタン“短押し”になります。
決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。
最後の 100 の位を決定（左ボタン“短押し”）すると入力完了となります。
※数値入力は 1000 の位と 100 の位になります。
※入力はまだ確定しておりません。ご注意下さい。
左ボタン“短押し”で決定すると設定が完了し、最初のエンジンオイルトリップメーター設定 設定画面（a.6）に戻ります。ここで左ボタン“長押し”を行うことで、設定が確定されてメイン画面へ戻ります。

警告指定距離に達するとエンジンオイルインジケーターにて警告されます。

■エンジンオイルトリップメーターの数値をクリアにする方法
メイン画面で右ボタン“短押し”によりエンジンオイルトリップメーター画面にし、左右ボタンを“長押し”することで、数値がクリアになります。



エンジンオイルトリップメーター設定画面“a.6”に戻ります。
a.6 の 6 が点滅した状態で、
左ボタン“長押し”を行い設定を確定します。同時にメイン画面に戻ります。

左ボタン 3 秒“長押し”

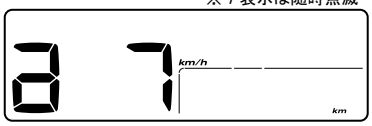
設定の確定とメイン画面に戻ります。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

⑦ a7 スピードメーター設定

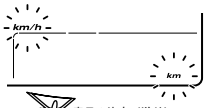
■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a7”に合わせ、セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a7“スピードメーター設定”設定画面に入ります。

※7表示は随時点滅



左右ボタン同時3秒長押しで設定画面に入ります。
“a1”が表示されます。
右ボタン“短押し”でa7“スピードメーター設定”設定画面へ切り替えます。左ボタン“短押し”で確認画面に入ります。

■a7“スピードメーター設定”設定画面



表示の決定（送り）
左ボタン“短押し”

左ボタン“短押し”で設定画面に入ると、“km”が点滅します。
ここでは、“km”の表示であることを確認します。
左ボタン“短押し”で入力完了となります。本製品では“km”のみ表示
本製品では“km”表示のみとなります。表示変更は出来ません。

スピードメーター設定画面“a.7”に戻ります。a.7の7が点滅した状態で、左ボタン“長押し”を行いメイン画面に戻ります。

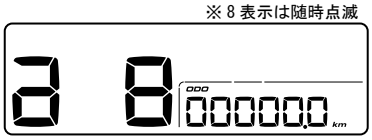
左ボタン3秒
“長押し”

メイン画面に戻ります。

⑧ a8 ユーザーオド設定

■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a8”に合わせ、セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a8“ユーザーオド設定”設定画面に入ります。

※8表示は随時点滅



左右ボタン同時3秒長押しで設定画面に入ります。
“a1”が表示されます。
右ボタン“短押し”でa8“ユーザーオド設定”設定画面へ切り替えます。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ります。

※設定確定に関する注意点
数値入力・機能選択後は必ず、設定トップ画面に左ボタン（短押し）で戻り、数字（例:a.1の1）が点滅状態で左ボタン（長押し）でメイン画面に戻って下さい。この作業で“設定確定”となり、メーターに設定が記憶されます。
※上記作業を行わず、キーOFFを行うと新規設定は記憶されず、設定前の状態になります。

■a8“ユーザーオド設定”設定画面
任意の数字にオドメーターの距離を設定します。メーター変更時に車両の走行距離を入力出来ます。

表示の切り替え
右ボタン“短押し”

表示の決定（送り）
左ボタン“短押し”

表示の決定（送り）
左ボタン“短押し”

左ボタン“短押し”で設定画面に入ると、10000の位の数字が点滅します。
ここでオドメーターの距離（km）を入力します。
点滅している位の数字の変更は、右ボタン“短押し”で行います。
数字の決定は、左ボタン“短押し”になります。
決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。
最後の位を決定（左ボタン“短押し”）すると入力完了となります。
※入力はまだ確定しておりません。ご注意下さい。
左ボタン“短押し”で決定すると設定が完了し、最初のユーザーオド設定画面（a.8）に戻ります。ここで左ボタン“長押し”を行うことで、設定が確定されてメイン画面へ戻ります。
設定範囲：0～99999km ※m単位は設定出来ません。

ガソリン計設定画面“a.8”に戻ります。a.8の8が点滅した状態で、左ボタン“長押し”を行い設定を確定します。同時にメイン画面に戻ります。

左ボタン3秒
“長押し”

設定の確定とメイン画面に戻ります。

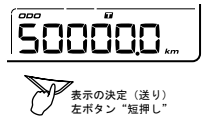
⑨ a9 トータル走行距離

■セレクトボタン（左ボタン）とアジャストボタン（右ボタン）を同時に“3秒長押し”し、設定画面に入ります。
■設定画面に入ると“a1 ”が画面に表示されます。アジャストボタン（右ボタン）“短押し”により、切り替えを行い“a8”に合わせ、セレクトボタン（左ボタン） を“短押し”し、a9“トータル走行距離”設定画面に入ります。

※9表示は随時点滅

左右ボタン同時3秒長押しで設定画面に入ります。“a1”が表示されます。
右ボタン“短押し”でa9“トータル走行距離”設定画面へ切り替えます。
左ボタン“短押し”で設定画面に入ります。

■a9“トータル走行距離”設定画面
当メーターの装着後の走行距離を確認出来ます。



表示の決定（送り）
左ボタン“短押し”

ご注意ください。
トータル走行距離（オドメーター）の表示は消したり、調整する事は出来ません。
表示範囲：0～99999.9km

トータル走行距離設定画面“a.9”に戻ります。a.9の9が点滅した状態で、左ボタン“長押し”を行いメイン画面に戻ります。

左ボタン3秒
“長押し”

メイン画面に戻ります。

⑩ トリップメーターA / Bの数値をクリアにする方法

■トリップメーターAの数値をクリアにする

数値がクリアになります。

■メイン画面で右ボタン“短押し”によりトリップメーターA画面にし右ボタンを“長押し”することで、数値がクリアになります。

■トリップメーターBの数値をクリアにする

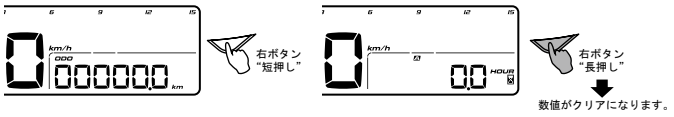
数値がクリアになります。

■メイン画面で右ボタン“短押し”によりトリップメーターB画面にし右ボタンを“長押し”することで、数値がクリアになります。

⑪　エンジンアワーメーターA / Bの数値をクリアにする方法

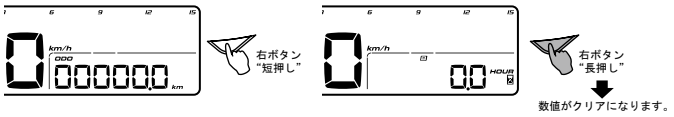
⑪

■エンジンアワーメーターAの数値をクリアにする



■メイン画面で右ボタン“短押し”によりエンジンアワーメーターA画面にし右ボタンを“長押し”することで、数値がクリアになります。

■エンジンアワーメーターBの数値をクリアにする



■メイン画面で右ボタン“短押し”によりエンジンアワーメーターB画面にし右ボタンを“長押し”することで、数値がクリアになります。

⑫　最高速度記録表示 / 平均速度記録表示の数値をクリアにする方法

⑫

■最高速度記録の数値をクリアにする

■メイン画面で右ボタン“短押し”により最高速度記録画面にし右ボタンを“長押し”することで、数値がクリアになります。

■平均速度記録の数値をクリアにする

■メイン画面で右ボタン“短押し”により平均速度記録表示画面にし右ボタンを“長押し”することで、数値がクリアになります。

トラブルシューティング

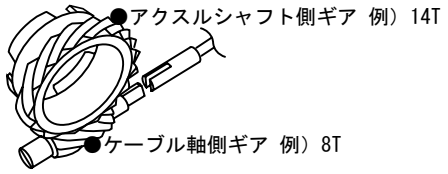
◎電源がオンにも関わらずメーターが作動しない。
→配線を再確認して下さい。　→ヒューズの状態やバッテリー電圧が十分にあるかを確認して下さい。
◎メーターの情報が実際と異なる。→バッテリー電圧を確認してください。バッテリー単体で電圧が8V以上あるか確認して下さい。
◎速度表示が出ない。または実際と異なる。　→速度センサーの接続を確認して下さい。　→タイヤサイズの設定を確認して下さい。
◎オドメーター、トリップメーターが積算されない。または実際と異なる。　→常時電源線が正しく接続されているか確認して下さい。
◎タコメーターが表示されない。または実際と異なる。
→ RPM コードの接続を確認して下さい。
→スパークプラグが抵抗タイプでない場合は抵抗タイプに交換して下さい。
→本取扱説明書を参考にタコメーター入力数、タコメーター読み込みプログラムを確認して下さい。
◎ガソリン計が表示されない。または実際と異なる。
→燃料タンクを確認し、マーターまでの配線が正しくされているか確認する。　→タイヤサイズの設定を確認して下さい。

速度補正値　調べ方

速度補正値調べ方 1

■メーターギアと現在装着している改造後タイヤ周長から割り出す方法です。
※分解時に破損の恐れがあります。十分に気を付けて作業を行って下さい。

■メーターギアボックス内部



1. メーターギアを分解してギア山数を数えます。

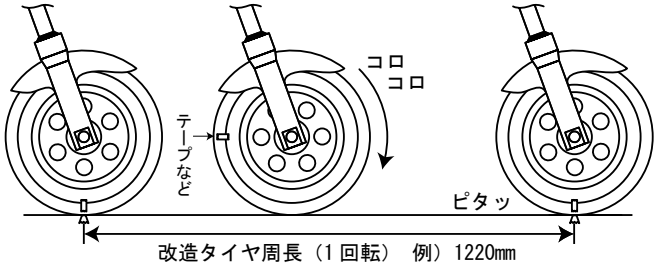
数値 A	数値 B
ケーブル軸側	アクスルシャフト側

ギアボックス種類	モンキー(ノーマル)	武川 10 インチ用
ケーブル軸側	8T	9T
アクスルシャフト側	13T	17T

2. テープなどでタイヤと地面に印を付け、
改造タイヤを 1 回転させてその距離を測ります。

数値 C
タイヤ周長 (mm)

例) 1220mm



3. 下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が〝速度信号長さ設定〟の値となります。〝速度信号回数設定〟は〝6〟を入力して下さい

数値 A		数値 B		数値 C		補正値
ケーブル軸側	÷	アクスルシャフト側	×	タイヤ周長 (mm)	=	
例) 8T		例) 14T		例) 1220mm		例) ≒ 697mm

速度補正値調べ方 2

■ノーマルタイヤと変更後のタイヤを比較する方法です。

それぞれのタイヤ周長を測って下さい。
下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が〝速度信号長さ設定〟の値となります。速度信号回数設定〟は〝6〟を入力して下さい

数値 A		数値 B		714		補正値
変更後のタイヤ周長	÷	ノーマルタイヤ周長	×		=	
例) 1220mm		例) 1250mm				例) ≒ 697mm